



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 富士通フロンテック株式会社
コード番号 6945 URL <http://www.frontech.fujitsu.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 下島 文明

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 豊美 由喜夫

TEL 042-377-2544

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	21,232	4.4	△963	—	△1,080	—	△735	—
26年3月期第1四半期	20,336	2.4	△1,146	—	△1,025	—	△914	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △1,108百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △814百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第1四半期	△30.72	—
26年3月期第1四半期	△38.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
27年3月期第1四半期	61,800	34,471	55.5	1,428.71
26年3月期	65,152	35,471	54.1	1,473.37

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 34,289百万円 26年3月期 35,236百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	47,100	△3.5	400	5.7	200	△17.5	100	—	4.18
通期	110,000	1.9	4,900	20.6	4,300	8.4	3,000	68.0	125.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	24,015,162 株	26年3月期	24,015,162 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	14,901 株	26年3月期	99,199 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	23,944,008 株	26年3月期1Q	23,968,462 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)7ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)連結財政状態に関する定性的情報	5
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	7
(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	7
4. 四半期連結財務諸表	8
(1)四半期連結貸借対照表	8
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	10
第1四半期連結累計期間	10
四半期連結包括利益計算書	11
第1四半期連結累計期間	11
(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	13
(5)重要な後発事象	13
5. 補足情報	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経済環境は、国内においては、消費税増税に伴う先行き不透明感があったものの、回復を続けており、また、海外においても先進国を中心に改善が見られるなど、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、金融ビジネスでは、海外向けATM用メカコンポーネントが好調に推移いたしました。流通ビジネスでは、昨年度に実施した国内店舗ソリューション事業の移管等により、売上高が減少いたしました。産業・公共ビジネスでは、前年度にトータリゼータ端末の大口需要があったことなどから減収となりました。サービスビジネスでは、店舗向けATMサービスなどが堅調に推移いたしました。以上により、連結売上高は21,232百万円（前年同期比4.4%増、896百万円の増）を計上いたしました。

損益につきましては、引き続き全社的な費用の効率化等に努めた結果、連結営業損失963百万円（前年同期は1,146百万円の損失、182百万円の改善）となりました。連結経常損失につきましては、為替差損等を計上したことにより、1,080百万円（同1,025百万円の損失、55百万円の悪化）となり、連結四半期純損失は735百万円（同914百万円の損失、179百万円の改善）となりました。

①当第1四半期連結累計期間の概況

(単位：百万円)

	2013年度 第1四半期連結累計期間 〔2013年4月1日～ 2013年6月30日〕		2014年度 第1四半期連結累計期間 〔2014年4月1日～ 2014年6月30日〕		前年同期比	
	売上高	売上高比(%)	売上高	売上高比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	20,336	100.0	21,232	100.0	896	4.4
営業損益	△1,146	—	△963	—	182	—
経常損益	△1,025	—	△1,080	—	△55	—
特別損益	△218	—	—	—	218	—
四半期純損益	△914	—	△735	—	179	—

2014年度第1四半期累計期間の平均為替レート：102.16円/米ドル、16.40円/中国元
2013年度第1四半期累計期間の平均為替レート：98.76円/米ドル、16.05円/中国元

②セグメント別の概況

(単位:百万円)

		2013年度 第1四半期連結累計期間 〔2013年4月1日～ 2013年6月30日〕		2014年度 第1四半期連結累計期間 〔2014年4月1日～ 2014年6月30日〕		前年同期比	
		売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)		増減率(%)
報告 セグ メン ト	金融ビジネス	6,410	31.5	9,462	44.6	3,052	47.6
	流通ビジネス	4,641	22.8	3,332	15.7	△1,309	△28.2
	産業・公共ビジネス	4,736	23.3	3,787	17.8	△949	△20.0
	サービスビジネス	4,319	21.3	4,361	20.5	41	1.0
その他		227	1.1	288	1.4	60	26.6
計		20,336	100.0	21,232	100.0	896	4.4
国内		14,854	73.0	14,670	69.1	△184	△1.2
海外		5,481	27.0	6,562	30.9	1,081	19.7
		営業損益		営業損益		前年同期比	
報告 セグ メン ト	金融ビジネス	△350		△298		52	
	流通ビジネス	△661		△479		181	
	産業・公共ビジネス	△50		△147		△96	
	サービスビジネス	210		208		△1	
その他		△25		25		51	
全社費用		△268		△273		△4	
計		△1,146		△963		182	

当第1四半期連結累計期間における各セグメント別の概況は以下のとおりです。

＜金融ビジネス＞

金融ビジネスにつきましては、海外向けATM用メカコンポーネントが昨年度に引き続き好調に推移したことに加え、営業店端末および関連ソリューションが大手金融機関向けを中心とした大口商談があったことにより、増収となりました。また、海外向けを中心に、手のひら静脈認証システムが伸長したことなどにより、連結売上高は9,462百万円（前年同期比47.6%増、3,052百万円の増）となりました。

損益につきましては、売上構成の変化や海外向けメカコンポーネントの新製品等の開発費の増加はあったものの、増収効果により、連結営業損失は298百万円と前年同期比では52百万円改善いたしました。

<流通ビジネス>

流通ビジネスにつきましては、富士通グループとしての事業強化を図るため、前年度に実施した国内店舗ソリューション事業および北米子会社のSCOソフトウェア事業の再編に伴い、売上高が減少いたしました。海外向けリネンタグ等のRFIDは引き続き堅調に推移いたしましたが、連結売上高は3,332百万円（前年同期比28.2%減、1,309百万円の減）となりました。

損益につきましては、減収影響はあったものの、昨年度から取り組んでいる事業再編や事業効率化の効果などにより、連結営業損失は479百万円と、前年同期比では181百万円改善いたしました。

<産業・公共ビジネス>

産業・公共ビジネスにつきましては、前年度にトータリゼータ端末の大口需要があったことに加え、スマートフォン関連の検証ビジネスの減収などにより、連結売上高は3,787百万円（前年同期比20.0%減、949百万円の減）となりました。

損益につきましては、開発の効率化に努めたものの、売上高の減少に伴う荒利益の減少により、連結営業損失は147百万円（前年同期比96百万円の悪化）となりました。

<サービスビジネス>

サービスビジネスにつきましては、店舗向けATMサービスや流通製品の保守ビジネスが堅調に推移したことなどにより、連結売上高は4,361百万円（前年同期比1.0%増、41百万円の増）、連結営業利益は208百万円と前年同期並みで推移いたしました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債・純資産の状況

(単位:百万円)

	2013年度 連結会計年度末 (2014年3月31日)		2014年度 第1四半期連結会計期間末 (2014年6月30日)		増 減	
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	金 額	増減率(%)
流動資産	47,075	72.3	44,000	71.2	△3,074	△6.5
(現金及び預金等)	(6,233)	(9.6)	(10,218)	(16.5)	(3,984)	(63.9)
(受取手形及び売掛金)	(23,844)	(36.6)	(14,771)	(23.9)	(△9,072)	(△38.0)
(たな卸資産)	(14,562)	(22.4)	(15,824)	(25.6)	(1,262)	(8.7)
固定資産	18,076	27.7	17,799	28.8	△276	△1.5
資産合計	65,152	100.0	61,800	100.0	△3,351	△5.1
流動負債	24,509	37.6	22,174	35.9	△2,335	△9.5
(支払手形及び買掛金)	(15,950)	(24.5)	(14,780)	(23.9)	(△1,170)	(△7.3)
(短期借入金)	(1,235)	(1.9)	(1,215)	(2.0)	(△19)	(△1.6)
(未払金他)	(6,744)	(10.4)	(4,816)	(7.8)	(△1,927)	(△28.6)
固定負債	5,171	7.9	5,154	8.3	△16	△0.3
負債合計	29,680	45.6	27,329	44.2	△2,351	△7.9
株主資本	36,008	55.3	35,434	57.3	△573	△1.6
その他の包括利益累計額	△771	—	△1,144	—	△373	—
少数株主持分他	234	0.4	182	0.3	△52	△22.2
純資産合計	35,471	54.4	34,471	55.8	△999	△2.8
負債純資産合計	65,152	100.0	61,800	100.0	△3,351	△5.1

自己資本	35,236	34,289	△947	△2.7
自己資本比率	54.1%	55.5%	1.4	

2014年度第1四半期末の為替レート：101.30円/米ドル、16.31円/中国元
2013年度末の為替レート：102.92円/米ドル、16.58円/中国元

<資産、負債、純資産の状況>

流動資産については、前連結会計年度末に比べ、3,074百万円減少し、44,000百万円となりました。これは主として、年度末に集中した受取手形及び売掛金の回収を進めたことによるものです。固定資産については、276百万円減少し、17,799百万円となりました。

負債については、賞与、法人税の支払い等により、2,351百万円減少し、27,329百万円となりました。

純資産については、当第1四半期連結純損失、及び配当金の支払いにより、999百万円減少し、34,471百万円となりました。

この結果、自己資本比率は55.5%と前年度末から1.4ポイントの増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	2013年度 第1四半期連結累計期間 〔2013年4月1日～ 2013年6月30日〕	2014年度 第1四半期連結累計期間 〔2014年4月1日～ 2014年6月30日〕	前年同期比
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
（税金等調整前四半期純損失（△））	（ △1,243）	（ △1,080）	（ 162）
（減価償却費及びのれん償却額）	（ 924）	（ 886）	（ △37）
（売上債権の増減額（△は増加））	（ 11,182）	（ 9,013）	（ △2,168）
（たな卸資産の増減額（△は増加））	（ △2,612）	（ △1,324）	（ 1,288）
（仕入債務の増減額（△は減少））	（ △197）	（ △1,104）	（ △906）
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,490	5,201	△1,288
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△377	△690	△312
I+IIフリーキャッシュ・フロー	6,113	4,511	△1,601
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,938	△491	1,447
現金及び現金同等物に係る換算差額	53	△23	△77
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	4,228	3,997	△230
現金及び現金同等物の期首残高	2,137	6,221	4,084
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,365	10,218	3,853

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは5,201百万円のプラスとなりました。年度末の売掛債権の回収を進めたことが主要因であります。前年同期比では1,288百万円の収入減となりました。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

投資活動によるキャッシュ・フローは690百万円のマイナスとなりました。固定資産の取得による支出が主要因であります。前年同期比では312百万円の支出増となりました。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

財務活動によるキャッシュ・フローは491百万円のマイナスとなりました。

この結果、現金及び現金同等物の期末残高は10,218百万円と、前年度末からは3,997百万円の増加となりました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間ならびに通期連結業績予想につきましては、平成26年4月28日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、並びに割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引した割引率を使用する方法へ変更いたしました。

なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は、軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,045	3,119
預け金	3,188	7,098
受取手形及び売掛金	23,844	14,771
製品	5,505	5,827
仕掛品	5,282	5,891
原材料及び貯蔵品	3,774	4,105
繰延税金資産	1,229	1,743
その他	1,216	1,445
貸倒引当金	△11	△2
流動資産合計	47,075	44,000
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,640	2,603
機械装置及び運搬具(純額)	319	287
工具、器具及び備品(純額)	5,760	5,845
土地	2,050	2,051
建設仮勘定	532	450
有形固定資産合計	11,304	11,238
無形固定資産		
のれん	863	815
ソフトウェア	2,672	2,614
その他	221	219
無形固定資産合計	3,757	3,650
投資その他の資産		
投資有価証券	468	431
繰延税金資産	1,581	1,481
デリバティブ債権	588	656
その他	409	375
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	3,014	2,911
固定資産合計	18,076	17,799
資産合計	65,152	61,800

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,950	14,780
短期借入金	1,235	1,215
リース債務	1,052	1,029
未払金	2,488	2,196
未払費用	2,469	1,443
未払法人税等	681	108
役員賞与引当金	52	39
その他	580	1,361
流動負債合計	24,509	22,174
固定負債		
リース債務	2,969	2,945
役員退職慰労引当金	35	38
退職給付に係る負債	1,998	2,007
資産除去債務	166	163
固定負債合計	5,171	5,154
負債合計	29,680	27,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,457	8,457
資本剰余金	8,223	8,222
利益剰余金	19,388	18,763
自己株式	△61	△9
株主資本合計	36,008	35,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30	11
繰延ヘッジ損益	21	-
為替換算調整勘定	△63	△110
退職給付に係る調整累計額	△698	△1,045
その他の包括利益累計額合計	△771	△1,144
新株予約権	82	33
少数株主持分	152	149
純資産合計	35,471	34,471
負債純資産合計	65,152	61,800

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	20,336	21,232
売上原価	17,505	18,250
売上総利益	2,830	2,981
販売費及び一般管理費	3,977	3,945
営業損失(△)	△1,146	△963
営業外収益		
受取利息	4	8
受取配当金	2	2
為替差益	154	-
雑収入	11	21
営業外収益合計	172	32
営業外費用		
支払利息	30	25
為替差損	-	92
固定資産廃棄損	0	0
出向者人件費負担額	10	21
雑支出	9	10
営業外費用合計	50	149
経常損失(△)	△1,025	△1,080
特別損失		
事業構造改善費用	218	-
特別損失合計	218	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,243	△1,080
法人税、住民税及び事業税	27	68
法人税等調整額	△359	△413
法人税等合計	△331	△345
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△912	△735
少数株主利益	2	0
四半期純損失(△)	△914	△735

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△912	△735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	41
繰延ヘッジ損益	△3	△21
為替換算調整勘定	93	△46
退職給付に係る調整額	△24	△347
その他の包括利益合計	97	△373
四半期包括利益	△814	△1,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△817	△1,109
少数株主に係る四半期包括利益	2	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,243	△1,080
減価償却費	822	838
のれん償却額	102	48
退職給付引当金の増減額(△は減少)	23	-
退職給付に係る負債の増減	-	10
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2	2
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△32	△36
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△8
受取利息及び受取配当金	△6	△11
支払利息	30	25
為替差損益(△は益)	△15	4
固定資産売却益	△0	△0
固定資産廃棄損	43	1
売上債権の増減額(△は増加)	11,182	9,013
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,612	△1,324
未払費用の増減額(△は減少)	△1,011	△948
仕入債務の増減額(△は減少)	△197	△1,104
その他	323	535
小計	7,409	5,968
利息及び配当金の受取額	3	11
利息の支払額	△30	△25
法人税等の支払額	△892	△752
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,490	5,201
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	12
有形固定資産の取得による支出	△468	△644
有形固定資産の売却による収入	598	190
無形固定資産の取得による支出	△509	△257
貸付けによる支出	△10	△9
貸付金の回収による収入	9	7
その他投資活動による支出	△0	△0
その他投資活動による収入	3	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△377	△690
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,498	-
自己株式の処分による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△191	△215
少数株主への配当金の支払額	△3	△3
リース債務の返済による支出	△244	△272
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,938	△491
現金及び現金同等物に係る換算差額	53	△23
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,228	3,997
現金及び現金同等物の期首残高	2,137	6,221
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,365	10,218

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日) (単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額
	金融 ビジネス	流通 ビジネス	産業・公共 ビジネス	サービス ビジネス				
売上高	9,462	3,332	3,787	4,361	288	21,232	—	21,232
営業利益又は 営業損失(△)	△298	△479	△147	208	25	△690	△273	△963

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、金型・切削加工事業、従業員向け福利厚生事業等を含んでおります。

(注2) 営業利益又は営業損失の調整額△273百万円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△273百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究等の戦略費用及び親会社のグループ経営管理・サポート機能に係る費用等であります。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

平成27年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	26年4月～26年6月	26年7月～26年9月	26年10月～26年12月	27年1月～27年3月
売上高	21,232			
売上総利益	2,981			
営業利益又は損失(△)	△963			
経常利益又は損失(△)	△1,080			
税金等調整前四半期純利益 又は純損失(△)	△1,080			
四半期純利益又は純損失(△)	△735			
1株当たり四半期純利益 又は純損失(△)	△30円72銭			

総資産	61,800			
純資産	34,471			
1株当たり純資産	1,428円71銭			
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,201			
投資活動によるキャッシュ・フロー	△690			
財務活動によるキャッシュ・フロー	△491			
現金及び現金同等物期末残高	10,218			

平成26年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	25年4月～25年6月	25年7月～25年9月	25年10月～25年12月	26年1月～26年3月
売上高	20,336	28,485	26,410	32,681
売上総利益	2,830	5,361	4,956	6,729
営業利益又は損失(△)	△1,146	1,525	1,042	2,641
経常利益又は損失(△)	△1,025	1,267	1,421	2,301
税金等調整前四半期純利益 又は純損失(△)	△1,243	933	1,421	1,991
四半期純利益又は純損失(△)	△914	519	873	1,307
1株当たり四半期純利益 又は純損失(△)	△38円17銭	21円70銭	36円53銭	54円65銭

総資産	61,035	63,600	61,837	65,152
純資産	33,640	34,201	34,926	35,471
1株当たり純資産	1,393円87銭	1,420円28銭	1,450円45銭	1,473円37銭
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,490	△2,542	2,371	1,489
投資活動によるキャッシュ・フロー	△377	△12	496	235
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,938	△393	△1,589	△285
現金及び現金同等物期末残高	6,365	3,412	4,868	6,221